

## 神社検定教養講座「日本の四季と神と祭り」全12回

### ◇第1回 季節感を失った年中行事 — 旧暦と新暦 —

日時：1月25日（土） 15時15分～16時45分

#### 【講座内容】

明治元年にそれまでの太陰太陽暦（旧暦）から太陽暦へと新暦法に変わりました。それによって、それまで日本人がおこなってきた年中諸行事や祭礼が新暦の日付をそのままに、ほぼ一ヶ月後に移行させた形で行われるようになりました。その変化の形をみてみます。

### ◇第2回 上巳節供<sup>じょうし</sup> 花宴<sup>はなのえん</sup>（梅花・桜花）

日時：2月22日（土） 13時30分～15時

#### 【講座内容】

年中行事は毎年特定の時期に繰り返される行事の総称で、それこそ、宮中、地方の民間においてその大小を問わず数多くありますが、特にこのセミナーでは五節供を中心にまとめます。

今回は大宝律令雑令にある上巳節供を中心にみてみます。

### ◇第3回 「祭」の語義と令制の祭り

日時：3月22日（土） 13時30分～15時

#### 【講座内容】

「まつり（祭）」の語義については、本居宣長の<sup>もとおり のりなが</sup>解釈をはじめ、従来諸説あるところで、それぞれの説について検討します。又、「神祇令」にある年間の恒例祭祀の構成をみてみます。

### ◇第4回 端午節供 田植儀礼

日時：4月19日（土） 13時30分～15時

#### 【講座内容】

大旨、五節供は中国の<sup>けいそ</sup>『荊楚歳時記』や<sup>ござつそ</sup>『五雜俎』と同様の記事があり、その淵源を彼の地に求めることができますが、その底流には日本固有の氏神祭や農耕儀礼がありました。

端午は、宮廷では他の文雅を伴う節供と異なり、馬術を中心とした競技が展開され、民間では田植儀礼として早乙女が忌み籠りをしました。

### ◇第5回 半歳周期<sup>きねんさい</sup> 祈年祭<sup>つきなみさい</sup>と月次祭

日時：5月24日（土） 13時30分～15時

#### 【講座内容】

6月、12月晦日には大祓が行われますが、6月は一年の前半の半歳の終わり、12月は後半の半歳の終わりに位置する祭りの時期と考えられます。我が国には一年を半歳ずつに分ける考え方があったようで、それが祈年祭、月次祭といった祭祀にも反映されていると思われます。

### ◇第6回 七夕 相撲

日時：6月28日（土） 13時30分～15時

#### 【講座内容】

7月7日に星祭りをする行事は中国に始まるもので、それが伝来してきたものですが、古くは宮中で天皇が相撲を御覧になる相撲節会が行われていました。『延喜式』織部の司の条にもあるように、女性が縫物の巧みを織女（たなばたつめ）に祈る乞巧奠（きっこうてん）の祭りとなっていきました。

### ◇第7回 八月十五夜 放生会<sup>ほうじょうえ</sup>

日時：7月19日（土）13時30分～15時

#### 【講座内容】

『後水尾院当時年中行事』には仲秋の観月に芋や茄子を供えたことが記されていますが、今日でも団子や菓子を供え、芒（すすき）を飾ったりする風習が残っています。又、多くの八幡系の神社では隼人討伐の霊を慰めるため魚や鳥を放生したという放生会が行われます。

### ◇第8回 重陽節供

日時：8月23日（土）13時30分～15時

#### 【講座内容】

謡曲『菊慈童<sup>きくじどう</sup>』は中国の神仙が菊によって命を延べるということを主題とするものです。平安時代初期から宮中では菊花の宴として、行酒、奏楽、賦詩などを行い賜禄が下されました。

旧暦の9月は秋の終りの収穫月ですから民間では「三九日」といって9日、19日、29日を中心に秋祭りが多く行われます。

### ◇第9回 新嘗<sup>にいなめ</sup>の祭り

日時：9月20日（土）13時30分～15時

#### 【講座内容】

11月は相嘗<sup>あいなめ</sup>、鎮魂、新嘗祭などが斉行される重要な祭りの季節といえます。新嘗祭は宮廷のみならず出雲大社古伝新嘗祭、香取神宮大饗祭<sup>たいきょうさい</sup>のように全国各地の神社や、厳重な物忌みの中、民間でも行われています。

### ◇第10回 大嘗・鎮魂二祭

日時：10月18日（土）13時30分～15時

#### 【講座内容】

「神祇令」において相嘗祭、鎮魂祭、大嘗祭の三祭だけには祭日の規定が付けられ、相嘗祭は上卯日、大嘗祭は下卯日、鎮魂祭は寅日とされていました。

「神祇令」においては踐祚大嘗祭、新嘗祭の区別がなく、本質的には同一の性格を持つ祭祀であったことを示しているといえます。

### ◇第11回 内侍所御神楽<sup>ないしどころ</sup>

日時：11月22日（土）13時30分～15時

#### 【講座内容】

12月には「内侍所御神楽」という重要な行事が行われます。当初は臨時の形であったものが、平安中期には恒例の行事として行われるようになったもので、この御神楽の発生は大嘗祭琴歌神宴を母胎とし、神事芸能としての御神楽が成立するに至りました。

### ◇第12回 正月儀礼

日時：12月13日（土）13時30分～15時

#### 【講座内容】

正月になると元旦節会をはじめとする宮廷儀礼が次々に行われますが、こうした儀礼が形を整えるのは平安期に入ってからだといえます。これらの正月儀礼の特徴として御齋会が仏教行事である以外は、宗教的、神事的性格を持たない、宴会、催し物行事といえます。民間でも農耕儀礼を元にする様々な行事が行われます。